広島・山口　広島湾ベイエリア

平和と体験の豊富な学習素材

広島県と山口県の瀬戸内海に接した広島ベイエリアは、豊かな自然と多様な歴史を背景にして、教育旅行にさまざまな体験プログラムを提供し続けている。広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会の４地域にスポットをあてて紹介しよう。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
〒730-8510　広島市中区基町５－44
TEL082-222-6651　FAX082-222-6411
E-mail hiroshima@hiroshimacci.or.jp
http://www.hiroshima-marugoto.jp/
担当（小田・大巳・近棟）
営業時間　月～金曜日8：30～17：30（祝祭日除く）

大崎上島

自然と歴史 人情を感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置し面積43・29平方㌔、人口約8300人の完全離島です。本土とは、竹原、安芸津港とフェリーで約30分の時間で結ばれており、その他にも、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。

離島ではあるものの、山陽自動車道への接続が便利で、広島空港などにアクセス可能です。周辺の主要都市へも比較的短時間で移動できます。

200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験

本町では、2011年度から体験型修学旅行の受け入れに向けて準備を進めてきました。島の特性、文化を生かしたさまざまな体験メニューを用意しています。

多様な体験メニュー

四囲が海であることから海洋関連のメニューが数多くあります。200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験、瀬戸内の穏やかな海を渡りながら甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣りも体験できます。さらに、広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」を使っての乗船体験も可能です。

一方、陸上部では瀬戸内の温暖な気候を生かし、さまざまな種類の柑橘類や野菜類が栽培されています。農業体験では、それらの育成過程を学びながら、実際の作業を体験することで農業の大切さを学べます。

民泊体験（ホームステイ）

島内での民泊家庭は、戸数100軒を超え、約400人の受け入れが可能です。

漁業や農業を生業とする島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と島独特の人情を感じることができます。

島の人々の生き方や命の源である食生産を担う農山漁村の役割を考え、それらを理解するよい機会となります。

まるごと島体験

海や陸で繰り広げられる人々のさまざまな営みに触れる「まるごと島体験」は、私生活を顧みることができ、豊かな心を育むきっかけになればと考えています。

みなさまに安心して来島いただけるように、受け入れの民泊家庭を対象に安全、衛生、防火など各種講習会を行い、万全の体制でお迎えいたします。ぜひ大崎上島町におお越しください。

島の自然と人情あふれた民泊家庭での調理体験

周防大島

海と山と人 自然と笑顔がいっぱい

山口県の南東部に位置し、ハワイ州カウアイ島と姉妹島縁組を結んでいる周防大島は、フラのイベントやアロハビズ、ヤシの木が立ち並ぶ海水浴場やハワイ関連施設などがあり、ハワイアンムードが漂う島です。

民泊体験（ホームステイ）

農業と漁業を営んでいる「半農半漁」の家が多いのも特徴です。農漁業の暮らしそのものを知ってもらうため、農漁業のやりがいや楽しさと同時に大変さも伝えたいと思います。さらに、新鮮で安全な農作物、あるいは水産物のおいしさ、食の大切さなども総合的に伝えたいと考えています。

また、単なる作業体験だけではなく、民泊先での高齢者を中心とした地元の人々との「心と心のふれあい」を大切にしています。家族みんなで一緒に食事を作り、食事を摂り、団欒を共にすることで、家族の大切さや人の温かさに触れることができます。

一校一校、毎回、新鮮な気持ちで受け入れすることを心がけ、一生に一度しかない大切な修学旅行が生徒にとって一生の思い出となるよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。

みかん収穫体験

島内では、温暖な気候を利用したかんきつ作りが盛んで、山口県のみかん生産の約8割を占めています。極早生みかんから始まって、大津4号、青島、ポンカン、デコポン、伊予柑……そして2004年に山口県で生まれた糖度の高い新品種「せとみ」など、多くの種類のかんきつを栽培しています。

段々畑で栽培されていることが多く、作業は大変ですが、段々畑から望む美しい瀬戸内海の景色と作業終了後に試食する甘酸っぱいみかんの味は格別です。

カヌー体験

穏やかな瀬戸内海でカヌーの体験をします。見た目以上にまっすぐ進むのが難しいカヌーは、まず湾内で練習した後、約1キロメートル沖合いにある小島までチャレンジします。

瀬戸内海の景色も堪能できる段々畑でみかんの収穫体験

穏やかな瀬戸内海でカヌーの体験

安芸太田

人と人との絆 社会で必要なこと学ぶ

広島県北西部に位置する安芸太田町は、広島市中心部から車で45分の好立地ながら、日本の原風景が広がるまさに都会の縁側といえる地です。昔も今も人々は互いを思いやり、先祖を敬い、命の大切さを子供たちに伝えながら暮らしてきた「絆」が極めて強い町です。

人情田舎民泊体験（ホームステイ）

安芸太田町での民泊交流は、人と人との信頼関係、家族の絆、命を育む大切さ、命を頂くことの有難さなど身をもって学ぶ機会となることでしょう。受け入れの主力は人口の45％を占める高齢者です。日本が必ず直面する「超高齢化社会」がすでに到達している当町での民泊体験は、若者が将来の日本を考える機会になることでしょう。

家族の一員として温かくも時には指導をしながら、安芸太田町らしい田舎（家と農地が極めて近い位置にある昔ながらの風景）ならではのさまざまな作業体験が可能な接し方をしてまいります。

太田川ラフティング

1艇最大生徒8人が乗り込み、安全管理教育を徹底的に施されたインストラクターの指導の下で全員が力を合わせ、最長約4キロメートルのコースを2時間程度で下ります。教育旅行的素材として十分な効果があり、かつ安全性を兼ね備えた教育旅行向けラフティングです。途中で清流の多様性を学ぶ機会も提供します。

なお、太田川ラフティング取扱業者は事業者で構成する協会に加盟しており、保険適用などすべて全国水準ですので安心してお任せください。

安芸太田式平和教育

世界初の原爆投下を受けた広島。放射能被害を受けた大勢の方々も高齢となり「生の声」を伝えられる期限が刻一刻と迫っています。「フクシマ」が世界的な問題である今こそ、じっくり取り組んでほしいテーマです。

全体講話でなく、クラスごとの小単位で一人の被爆者と向き合い「被爆後の長い人生をどんな想いでどのように生きてきたか」を語り合うことで、生徒の心に浸透させられると確信しています。平和公園での資料館見学と安芸太田式平和教育の組み合わせで、大きな教育効果が期待できます。

日本最南端の豪雪地帯での雪国体験

安芸太田町は、世界的にも稀な北緯35度の豪雪地帯。中国地方で大山に次ぐ標高の恐羅漢山（おそらかんざん）にあるスキー場は、初心者の生徒にぴったりのスキー場です。

スキーやスノーボードほか、一人暮らしの高齢者宅での雪かき、チームワーク醸成に最適なイグルー製作（イヌイットの住居）などさまざまな雪国生活が体験できます。

安芸太田町の特色を生かした人情田舎民泊体験

教育旅行的素材である太田川ラフティング

江田島

美しい自然 碧い海と緑あふれる島

江田島市は、広島市の南、広島湾の中央に位置し、年間平均気温16・6度と瀬戸内海特有の温暖な気候と瀬戸内海に面した海岸線は変化に富み、自然の美しさがあふれています。

主要な産業は1次産業で、カキ養殖を代表とする漁業、温暖な気候を生かしたミカン、キュウリなどの農業が盛んに行われています。この他にも伝統工芸の紙布などがあります。これらの体験とともにシーカヤックなどのスポーツもでき、広島の平和学習と併せて、バリエーションに富んだ教育旅行を提案することができます。

民泊体験（ホームステイ）

江田島市では、現在83軒の受け入れ家庭に協力をいただき、約332人の受け入れが可能です。

江田島市の民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく家族の一員としてお迎えします。祖父母などの年代とのコミュニケーションを図ることにより、家族の絆や信頼関係の大切さを実感することができることから、教育効果の高い体験になると考えています。

カキ打ち体験

江田島市は、カキのむき身生産量が国内で第2位を誇り、本場広島カキの主力を担っています。カキ打ち体験では、カキがどのような作業過程を経て、できるかを学ぶことにより、カキを知ることで環境学習も深めていただけます。

みかん農家作業体験

段々畑がみかんの育成に向いている理由や、収穫をはじめ剪定や肥料やりを通して、みかんの効能と農業の実態を学ぶことができます。

瀬戸内の段々畑から見渡す瀬戸内の多島美は最高です。

海上自衛隊第1術科学校

海軍兵学校は、明治21年8月に東京築地から移転してきたものです、米国のアナポリス、英国のダートマスとともに世界3大兵学校としてその名を馳せました。

現在では、教育参考館に旧海軍関係の歴史的資料約1200点が展示されています。その中には神風特攻隊員たちの遺書や遺品があり、訪れた人の心を強く打ちます。

島の代表産業の一つカキ養殖でカキ打ち体験

船でのお別れ

第10回全国 2013年8月30日（金）31日（土）9月1日（日）

ほんもの 体験フォーラム in 広島・山口

【開催にあたって】

本フォーラム節目となる第10回目を、広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会（広島湾域7市6町の自治体、商工会、商工会議所、民間企業で構成。事務局:広島商工会議所）が中心となり、広島・山口県の2県で共同開催いたします。今回のフォーラムでは、「平和学習」と「体験交流」をテーマに、全国の体験型観光のさらなる推進に寄与するため、様々な内容を企画しております。ぜひ、多くの方々のご参加をお待ちしております。

【広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会の活動】

本協議会では、広島の平和学習に加え、瀬戸内海特有の豊かな自然を活かした、多彩な体験プログラムを用意し、協議会のメンバーである山口県周防大島町、広島県大崎上島町、江田島市、安芸太田町の2県にまたがる4地域を中心に、「体験型修学旅行」の誘致拡大に積極的に取り組んでおります。

【プログラム（予定）】

日時		内容	場所
8月30日（金）	午後	<体験ツアー> <ガイドツアー>	<体験ツアー> 広島市、岩国市、江田島市、安芸太田町 <ガイドツアー> 呉市、廿日市市（宮島）
8月31日（土）	午前		
	午後	<全体フォーラム> ①事例紹介 ②公開パネルディスカッション ③情報交換会	広島県立総合体育館「武道場」
		④夜の観光 ・広島湾サンセットクルーズ ・広島歓楽街のご紹介	――
9月1日（日）	午前	<課題別研究分科会>	広島市、大崎上島町、江田島市、安芸太田町、周防大島町
	午後	<体験ツアー>	大崎上島町、周防大島町

※フォーラムの開催内容は、一部変更する場合がございます。

【主　催】第10回全国ほんもの体験フォーラムin広島・山口実行委員会（構成:広島湾ﾍﾞｲｴﾘｱ・海生都市圏研究協議会、広島県、山口県、広島市、広島商工会議所）

【共　催】全国ほんもの体験ネットワーク